

平成20年度 当初予算と主な事業

一般会計 29億4,700万円
特別会計 7億7,656万円

〈会計別予算規模〉

(単位：千円、%)

会 計	平成20年度		平成19年度		対前年度比較	
	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比
1. 一般会計	2,947,000	79.1	2,910,465	73.5	36,535	1.3
2. 特別会計	776,563	20.9	1,046,773	26.5	△270,210	△25.8
(1)国民健康保険特別会計	313,943	8.4	284,297	7.2	29,646	10.4
(2)介護保険特別会計	168,018	4.5	169,372	4.3	△1,354	△0.8
(3)後期高齢者医療特別会計	21,881	0.6	0	0.0	21,881	—
(4)老人保健特別会計	27,195	0.7	219,258	5.5	△192,063	△87.6
(5)簡易水道特別会計	91,511	2.5	98,971	2.5	△7,460	△7.5
(6)農業集落排水事業特別会計	154,015	4.1	274,875	6.9	△120,860	△44.0
合 計	3,723,563	100.0	3,957,238	100.0	△233,675	△5.9

平成20年度の中川町一般会計並びに特別会計予算が町議会3月定例会で可決されました。
一般会計予算は、29億4,700万円で、前年度の29億1,047万円から、3,654万円1.3%の増となりました。
国民健康保険事業や介護保険事業、農業集落排水事業など、特別会計の総予算額は7億7,656万円で、前年度の10億4,677万円から2億7,021万円、25.8%の減額となりました。
国の財政構造改革(三位一体の改革)などの影響により、厳しい予算編成となりました。

一般会計予算額が前年度と比較して増額となるのは、平成17年度以来でありましたが、前年度当初予算は新規事業等の一部の予算を盛り込まない骨格予算であったためで、予算補正による肉付け後の予算額(29億8,600万円程度)と対比すると1.3%程度の減となりました。
また、特別会計が減額となるのは、平成20年度から新しい高齢者医療制度(後期高齢者医療)に移行すること、農業集落排水施設整備(佐久地区)の大部分を完了したことが、減額の主な要因となっています。

一般会計と各特別会計を合わせた総額は、37億2,356万円で、前年度の39億5,724万円から、2億3,368万円5.9%の減となり、平成19年度に引き続き減少となりました。

平成20年度予算 主な事業

民生費

- 一心苑暖房設備改修 3,798万円
【主な内容】
居室パネルヒーター本体及び配管の取替など
- 介護保険関連事業 1,651万円
- 高齢者福祉支援事業 475万円
- 障害者福祉支援事業 7,018万円
- 子育て支援事業 277万円
【主な内容】
子育て支援センター運営、放課後児童保育運営
- 幼児センター運営事業 2,625万円
- 健康づくり事業 1,609万円
【主な内容】
各種健診の実施〔一般、高齢者、がん検診（乳がん健診の対象年齢引き下げ）
妊婦一般健康診査費助成〔現在2回→7回に拡大）
麻しん風しん予防接種〔中学1年生及び高校3年生（相当年齢）の実施〕
- 後期高齢者医療広域連合負担金及び繰出金 2,852万円

農林水産業費

- 農業担い手育成事業 811万円
【主な内容】
新規就農者対策事業〔営農技術習得費助成、経営自立安定補助、農場リース料助成、固定資産税奨励金交付、新規就農推進員設置〕
- 畑作振興事業 949万円
【主な内容】
・施設野菜導入支援事業（ハウス導入経費の20%を助成）
・中川町元気な土づくり推進事業（良質堆肥購入に対して助成）
・畑作・野菜経営安定化推進事業（アスパラの作付に対して助成）
・中川町かぼちゃ残留農薬ヘブタクロル自主検査支援事業
（基準値を超えた南瓜を出荷しないよう、南瓜作付ほ場の土壌検査・食物検査費用に対しての助成）
- 畜産振興事業 2,683万円
【主な内容】
中山間地域等直接支払推進事業、家畜衛生対策事業、農業経営基盤強化資金利子補給
- 畜産基盤総合整備事業 1,859万円
【主な内容】
・畜産基盤再編促進事業（規模拡大農家に対して事

業費等への助成や利子補給）

- ・堆肥舎整備促進事業（堆肥舎等整備に対しての支援対策等）

- 町営牧場運営事業 2,440万円
- 林業振興事業 1,520万円
【主な内容】
・人工造林推進事業補助、21世紀北の森づくり推進事業補助、森林整備地域活動支援交付金
- 町有林整備事業 2,839万円
【主な内容】
・森林環境保全整備事業（人工造林5.00ha、下刈117.91ha、除間伐37.2ha）
・町有林保育事業（根踏16.86ha、周囲刈5.00ha、野ねずみ駆除4.26ha）

商工費

- 商工振興事業 3,643万円
【主な内容】
・中川町起業チャレンジ条例（起業の促進のため補助金の交付） 300万円
・商工会運営費補助 1,344万円
・商工会まちづくり事業（プレミアム商品券発行） 15万円
・商工会特産品開発事業 40万円
- 観光振興事業 2,254万円
【主な内容】
・観光協会運営費補助 735万円
・各公園維持管理委託 541万円

土木費

- 道路新設改良事業 23,060万円
【主な内容】
・臨時交付金事業：中川環状線（工事延長144m）事業費 1,100万円
・地方特定道路整備事業：共和志文内川線（工事延長130m）事業費 2,800万円
・凍雪害防止事業：国府18線本線（工事延長70m）事業費 5,000万円
・凍雪害防止事業：誉旧国道線（工事延長570m）事業費 1億3,000万円
- 公営住宅建設事業 1,944万円
【主な内容】
・中川町耐震改修促進計画策定委託業務（耐震診断及び耐震改修に関する各種事項の調査・分析等）
・地域住宅交付金事業（住宅火災警報器の設置）

教育費

- 中川商業高校振興対策協議会助成 430万円
【主な内容】
・通学援助、下宿補助、教育環境整備、生徒募集対策
- 教員住宅整備事業 10,878万円
【主な内容】
・鉄筋コンクリート造2階建・1棟4戸の新築工事、
車庫設置、既存教員住宅解体
- 中央小学校改修事業 1,153万円
【主な内容】
・中央小学校耐震化推進事業及び中央小学校大規模
改修事業に関する調査・設計について
- ふるさと学習プロジェクト事業 80万円
【主な内容】
・地域特性・地域財産を教材とした、幼小中高一貫
の「ふるさと学習」実践事業

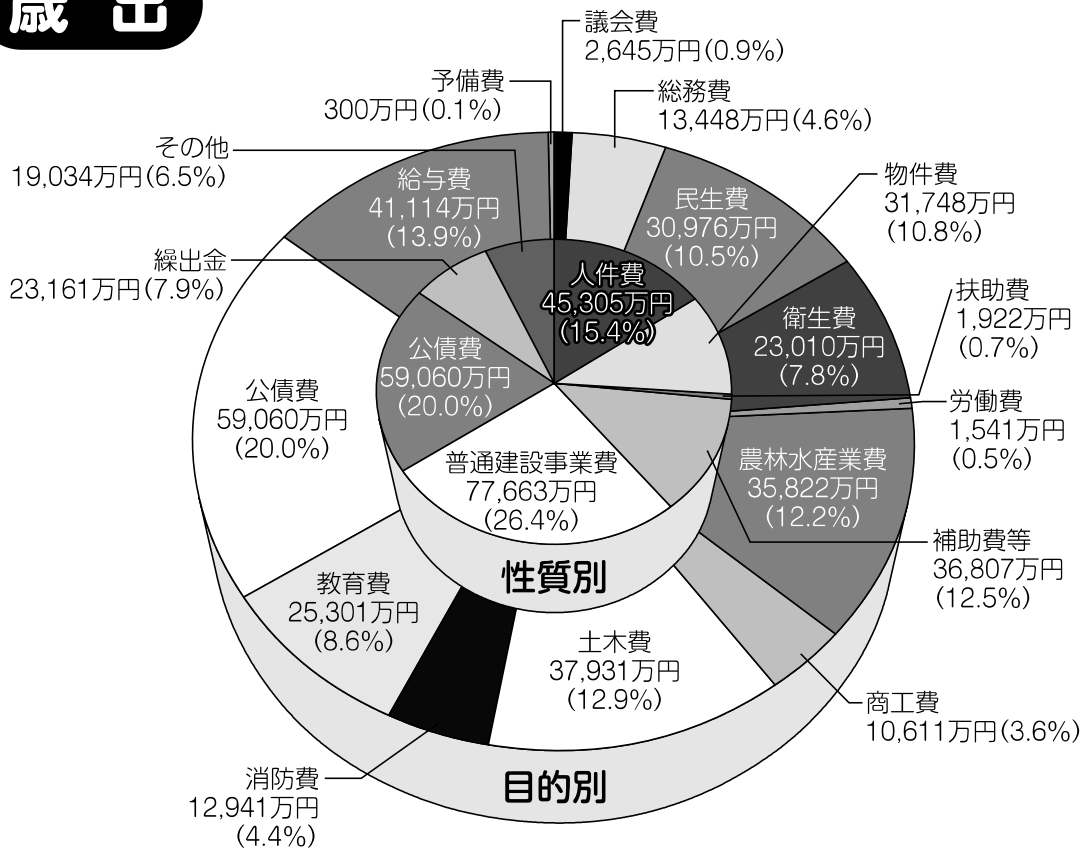
特別会計

農集会計

- むらづくり交付金（農業集落排水事業佐久地区）
4,563万円
- 循環型社会形成推進交付金（浄化槽市町村整備
推進事業）
1,994万円
【主な内容】
・個別合併処理浄化槽設置 11戸（5人槽9戸、7
人槽2戸）

※さらに詳しい内容につきましては、中川町ホームページ→「行政情報」→「総務課」→「財政室」→「平成20年度中川町当初予算の概要（PDFファイル）」をごらんください。

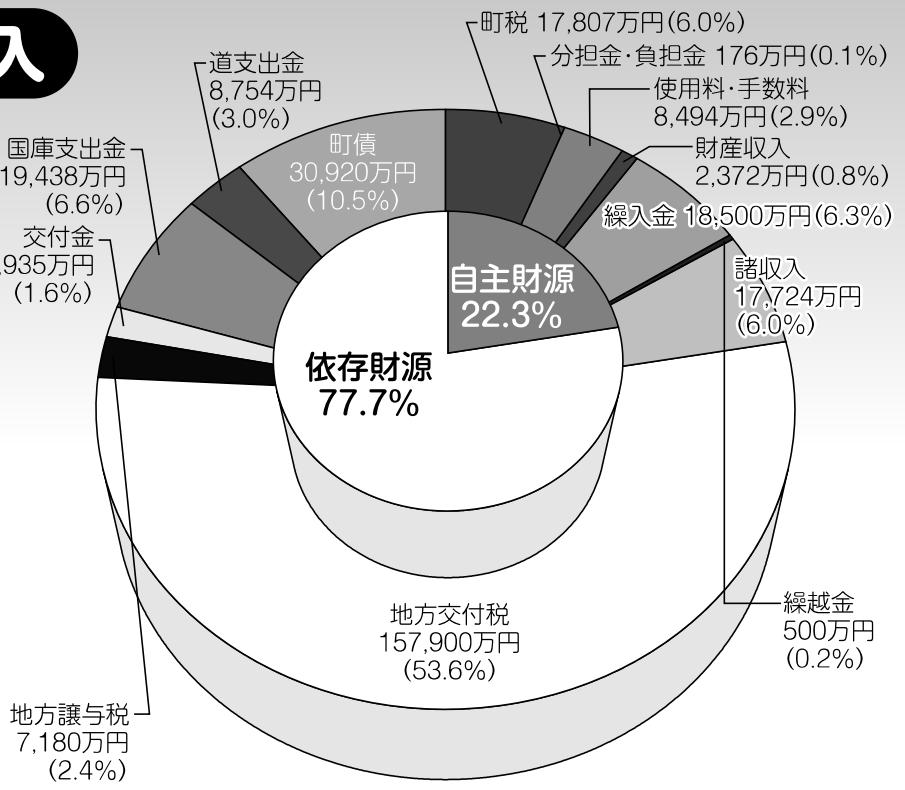
歳出



一般会計

歳出合計 29億4,700万円 歳出

歳入



歳入合計 29億4,700万円 歳入

『歳入』
町税は、昨年度の個人住民税において、三位一体の改革による所得税からの税源移譲及び定率減税の廃止などの税制改正により、一定の伸びはあったものの、引き続き人口の減少、個人所得の減少等により、前年度比657万円、8.7%の減となるなど、町税全体で1億7,807万円、前年度と比べ、754万円、4.1%の減となっています。

地方譲与税等は、平成20年3月31日に暫定期限の到来する道路特定財源の状況により大きく左右される自動車重量譲与税、地方道路譲与税、自動車取得税交付金のいずれも不確定状況ではあるものの、現行制度に基づき地方譲与税は前年比460万円、6.0%減の7,180万円、自動車取得税交付金は前年比87万円、3.5%減の2,400万円を見込んでおります。

地方交付税は、基準財政収入額において町税収入の伸びが見込めないことや、基準財政需要額では、新たに地方再生対策費が創設されたことなどにより、前年度に比べ、24%増の15億7,900万円を見込んでおります。

使用料及び手数料は、8,494万円、前年度に比べ、116万円、1.3%の減となっています。

これは、牧場使用料の減等によるものです。

国庫支出金は、1億9,438万円、前年度に比べ、653万円、38.0%の増となっています。

これは、各基金の預金利子の増等によるものです。

繰入金は、1億8,500万円、前年度に比べ、2,048万円、12.4%の増となっています。

これは、財政調整基金の繰入は減少したものの公共施設整備等の財源手当のため、公共施設整備基金の取崩し増によるものです。

町債は、3億9,200万円、前年度に比べ、750万円、2.5%の増となっています。

これは、農道整備に係る農業債は4,980万円の減となっていますが、教職員住宅、小学校整備に係る教育債が4560万円の増となるなど教育関連施設の継続及び新規事業の増加によるものです。

特別会計

国民健康保険特別会計
3億1,394万円、前年度に比べ、2,965万円、10.4%の増となっています。

これは、後期高齢者医療制度の開始による拠出金の増加などによるものです。

介護保険特別会計
1億6,802万円、前年度に比べ、135万円、0.8%の減となっています。

これは、保険給付費の減などによるものです。

後期高齢者医療特別会計
2,188万円を計上しております。

これは、高齢者の医療の確保に関する法律の施行(平成20年4月1日施行)により、平成20年度から後期高齢者医療特別会計を新規に設置し、北海道後期高齢者医療広域連合に対する繰出金が、主な計上内容となっています。

老人保健特別会計
2,720万円、前年度に比べ、1億9,206万円、87.6%の減となっています。

これは、昭和58年に発足した「老人保険制度」が、高齢者の医療の確保に関する法律の施行(平成20年4月1日施行)により、平成20年4月1日から「後期高齢者医療制度」へ移行することから大幅な減となっています。

簡易水道特別会計
9,151万円、前年度に比べ、746万円、7.5%の減となっています。

農業集落排水事業特別会計
1億5,402万円、前年度に比べ、1億2,086万円、44.0%の減となっています。

これは、平成17年度に着手し、平成20年度をもって概ね完了する予定の農業集落排水施設整備佐久地区の事業規模が大きく減少したことによるものです。